

# 透視撮影装置

## 透視撮影とは

X線を連続的に照射することで、体内をリアルタイムに観察しながら行う検査です。造影剤という薬を使用して検査を行う場合もあります。

## 使用装置について

- ・日立製作所製  
VERSIFLEX (83透視室)



- ・日立製作所製  
CUREVISTA (内視鏡室)



- ・島津製作所製  
SONIALVISION G4 (92透視室)



## 特徴 (島津製作所製 SONIALVISION G4)

- ・微小画素ピッチによる高解像度と高いコントラスト分解能により高画質を実現します。
- ・最大17×17インチの大視野により注腸や腹部全域の同一画像内での観察を可能にしています。
- ・1回の撮影で任意の断層面を提供するトモシンセシスを搭載しています。

## トモシンセシスとは

1回の撮影で数十枚の連続断層画像によるボリュームデータが得られる画像技術です。重なりを避けた高精細画像で微細な骨折などを明瞭に観察できます。



## 検査の流れ（検診胃バリウム）

- ① 92 透視室にご案内します。
- ② 発泡剤とバリウムを飲んで頂きます。
- ③ 食道・胃・十二指腸へバリウムを流し色々な方向から撮影します。撮影中はゲップを我慢していただきます。もしゲップが出てしまったり、腸の方に空気が流れてしまった場合に発泡剤を追加します。胃の中に食べ物や飲み物が残っている場合は正しい検査ができませんので、絶飲食の指示が出る場合があります。詳しくは検査をお申し込みの際にご確認ください。
- ④ 検査後はバリウムが残らない様に下剤をお渡ししますのでなるべく早く飲んで当日は水分をしっかり取り、アルコールは控えて下さい。

